

グループ多摩虫会員総会 2017年3月12日(日) 午前9:50~10:50  
於:立川市女性総合センター「アイム」5F 第3会議室

【年次総会】

『総会の進行』

- \* 司会:田中和夫、議長:齋藤秀昭(議場で決定)、書記:渡辺隆
- \* 「総会は正会員の過半数の出席で成立する。委任状も出席とみなす。総会の議案は幹事会で作成し、出席者の過半数の賛成で決議する。」(会則、第28条)
- \* 会員総数173名、総会出席者数57名、委任状受理者数65名、合計122名となり、過半数87名を上回り総会は成立。(出席者は開会時の人数です)

- 1) 大野代表挨拶
- 2) 議長指名・総会成立宣言
- 3) 議事 : 1) 報告事項

2016年度活動報告

2) 審議事項

第1号議案 40周年記念事業プロジェクト発足の件

第2号議案 次期幹事の起案

第3号議案 遠方幹事に対する交通費一部負担の件

第4号議案 2017年度活動計画案

活動方針、行事計画、育成プロジェクト活動計画、  
会誌発行計画、IT関係計画、会計予算

- 3) 表彰 皆勤賞
- 4) 新入会員紹介
- 5) 退任幹事挨拶
- 6) その他、連絡事項

【記念講演】

奥本 大三郎 氏 「日本人と虫」 午前11:00~12:00

【40周年記念祝賀会】

総会終了後、下記にて祝賀会を行います。

1. 日時 : 平成29年3月12日(日) 12:30~15:30
2. 場所 : パレスホテル立川3階こぶしの間(立川市曙町2-40-15, Tel. 045-527-1111)
3. 会費 : 一人@7000円、(20歳未満の方は@5000円と致します)

シンガーソングライター Luuka 氏のライブ、マジックショーなどもあります。

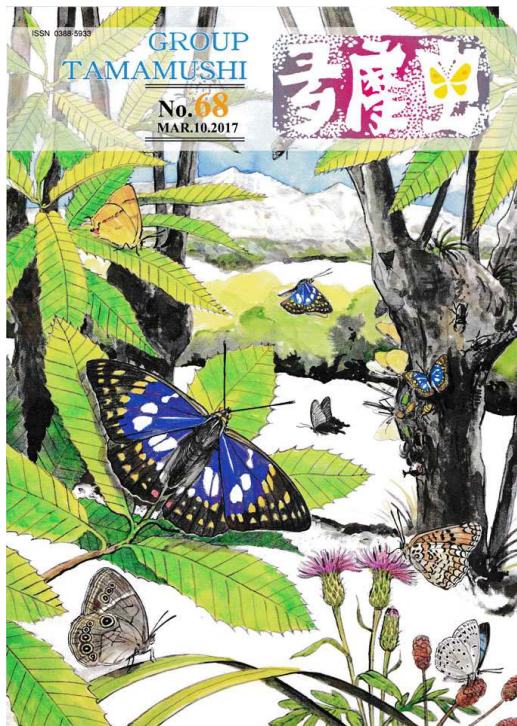
【今後の例会予定】 午後6:30~8:30、

4月18日(火)(第3火曜日、武蔵野公会堂第1・第2合同会議室)

講演:新津修平氏「日本産ミノガ類研究における最新の知見と今後の展望」

富樫 敦氏「蝶の植樹、食草と食餌」

鈴木陽花氏「磐梯朝日国立公園 磐梯吾妻・猪苗代地域周辺における四季の昆虫相調査」



(標本&生態写真)のお願い

### 【連絡事項】

#### 1. 【多摩虫68号発行】

会誌68号は予定通り発行の運びになり、3月1日、ヤマトDM便で発送致しました。数日後になっても届かない場合は連絡ください。投稿頂いた方へは規程とおり2冊をお送りしております。ご協力ありがとうございました。(編集:羽鳥信義)

#### 2. 「2017年度の会費」

3月より新年度となりますので、会費を未納の方は、至急納入して下さい。お願い致します。

一般会員: 4,000円、高校生以下: 1,000円

#### 【送金先】

ゆうちょ振替口座: 00180-0-67713 グループ多摩虫

### 【2月例会 概要】

2月21日(火)に、参加者29名を迎えて、2月例会が開かれました。武蔵野公会堂が工事中のため、会場は立川市子ども未来センターでした。

新調したパソコンのケーブル端子がプロジェクターのものと合わず、IT担当の中村さんが所用で遅れ、当該ケーブルを持参するまで、1月例会で一人一話をしていなかった会員にお話しいただいたり、ご歓談いただいたりして、およそ1時間を過ごしました。

やっと開始した講演担当者は初めてのお2人でした。

宮川勉氏からは虫の絵について大学の授業のような講義をしていただき、実に学びました。

ヨーロッパでは既に16世紀の博物学の発展に合わせ博物画の手法が確立していましたが、花鳥画の歴史の長い日本では、江戸時代になってようやく足下の虫を見るようになり、「気を写す」とした円山応挙のような写生の視点を持つ人も登場して、絵画的態度の大変革がもたらされました。

細川重宗は自ら飼育して描き、増山雪斎も実際虫を殺して描いたり、栗本丹洲は「千虫譜」を完成させました。1790年頃までには顕微鏡がもたらされ、標本技術が入った以降は、展翅されたものを見て描くようにもなりました。増山は写生に使った虫類の霊を慰めるため上野寛永寺に虫塚を建てたそうです。

若手の内田脩太氏からは、甲虫へのマニアックでひたむきな気持ちが感じられ、ある意味、虫屋の王道を歩んでいる印象でした。

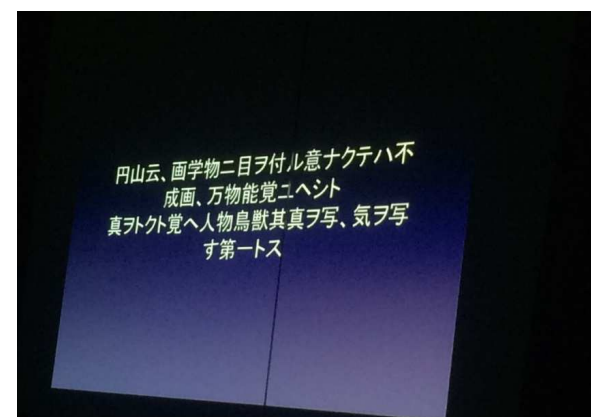
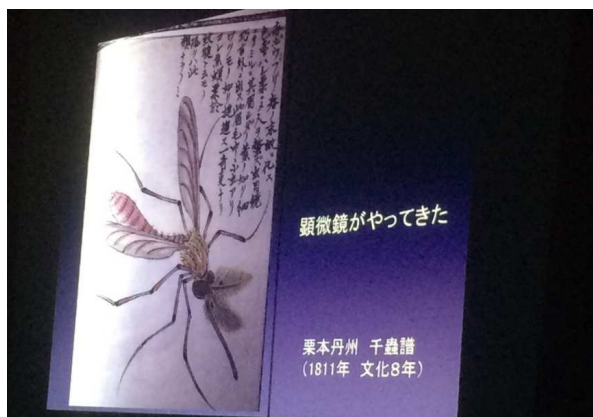
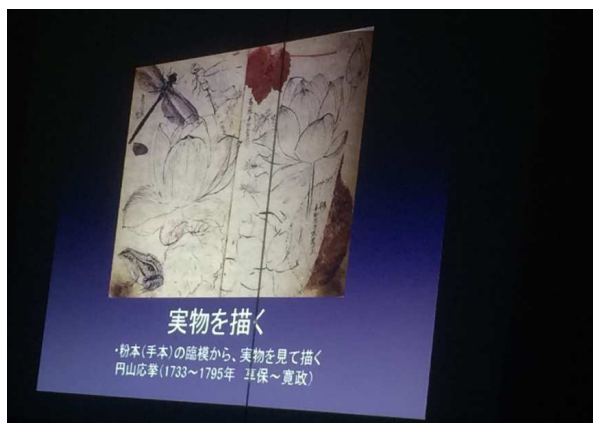
渡良瀬遊水地はゴミムシの多い所だそうで、8mmくらいの虫を探すのは腰が痛くなるそうです。

また夜間にヘッドライトをして探すので不審者として見られ、何度か職務質問も受けたそうです。

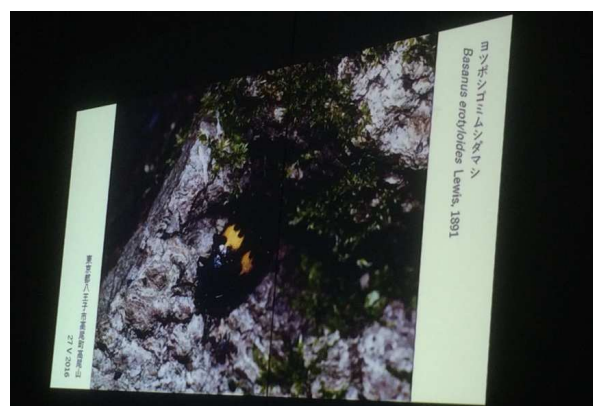
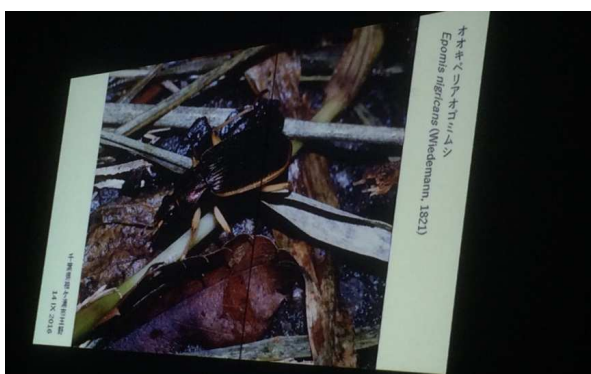
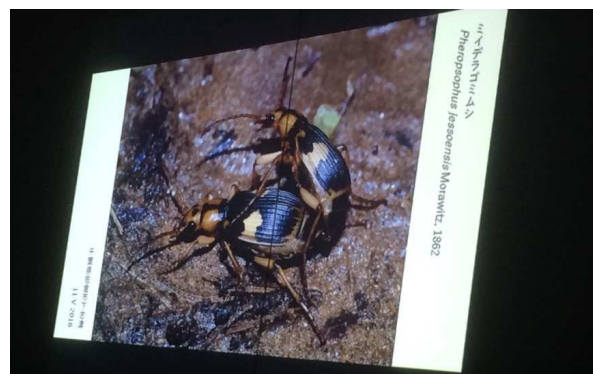
ミイデラゴミムシは外敵の攻撃を受けると腹部から100℃のガスを噴射、オオキベリアオゴミムシはカエルに外部寄生して体液を吸う、ミズモグリゴミムシは平気で水中で行動する、などなど、写真を見ながらオドロキの習性の解説が続きました。

ゴミムシ以外にもアオマダラタマムシが多磨霊園に多かったり、ヨツボシゴミムシダマシのコウモリ紋の美しさだったり、埼玉や群馬で旺盛の桜を食い荒らす外来種のクロジャコウカミキリが、東京の福生に入ったので要注意だとのことだったり、内田会員の蒔薔がいっぱい披瀝されて、非常に楽しい内容でした。その後は13名が二次会に出かけました。(企画幹事:北川朝生)

# 宮川勉氏「細密画について」



# 内田脩太氏「甲虫オモシロ話」



## 二次会の風景



## 3月の蝶（春近し）



枝先に止まるアカボシゴマダラ幼虫  
東京湾の海沿いにて



塹で目覚めたムラサキシジミ  
埋め立て地の公園にて